

# 四日市市 子どもの**学力向上**に向けた構想（案）

## 四日市の子どもにつけたい力

### 社会人になっても通用する問題解決能力

子どもたちが将来生きていく社会は多様で変化が激しく、課題は一層複雑化し、解決の筋道が明らかでない問題が多く存在します。そのため、自身が身に付けた知識・能力を実生活で応用するとともに、他者と関わりながら問題を解決していく主体的・能動的な能力が求められます。四日市市では、このような力を「**社会人になっても通用する問題解決能力**」と位置づけ、すべての子どもたちの中に育むことをめざします。

## 学力向上のための二つのアクション

### 学びの環境の充実

#### 1 学校の役割

- ①保幼小中の一貫教育による系統性・連続性のある教育の推進  
（保育園・幼稚園と小学校低学年との交流、  
中学校との連携による小学校高学年教科担任制の充実、  
中学校区における研究課題と指導体制の一体化）
- ②授業改善・授業力向上  
（『問題解決能力向上のための授業づくりガイドブック』の活用、少人数教育の充実、  
電子黒板等のICT活用、授業の目標提示と振り返り活動の工夫と徹底、  
評価とフィードバックの確実な実施、全国学力学習状況調査・到達度検査の活用）
- ③学習機会の拡充（補充学習の充実、土曜授業の活用）
- ④家庭学習支援（家庭学習の手引き・シラバス等の作成及び活用、宿題の工夫）

#### 2 家庭・地域の役割

- ①家庭学習時間の確保  
（基本的な生活習慣の確立など生活リズムの向上、『早ね 早起き 朝ごはん』の取組）
- ②地域による学力向上支援
- ③スマホ・携帯電話等に係る諸問題への対応

#### 3 行政の役割

- ①充実した学習環境の整備  
（ICT環境の充実、小・中学校1年生30人学級等少人数教育の拡充、空調施設の整備等）
- ②一人一人の子ども能力を引き出すためのきめ細かな対応  
（特別な支援を必要とする児童生徒への支援の充実、教育的に不利な環境にいる子どもへの支援、  
スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置等）



### 学びの質の向上

#### 4 学ぶことと社会のつながりを意識した四日市の教育 ～何のために学ぶのか、自分はどうなりたいか～

- ①『よっかいち・輝く自分づくりプラン』に基づくキャリア教育の充実
- ②グローバル社会で活躍できる基礎として必要な日常英会話能力の育成
- ③他機関、企業等と連携した学びの充実による多様な価値観の提示  
（四日市こども科学セミナー、JAXA・企業等連携授業、  
四日市公害と環境未来館、博物館・プラネタリウム、図書館等を活用した学習）
- ④四日市に愛着と誇りの持てる体験活動の充実  
（地域の自然・歴史・文化に触れる、本物の文化に触れる、地域活動に携わる）

#### 5 実生活への応用力を身に付ける四日市の学び方 ～思考力・表現力・判断力を育成する学習方法の開発～

- ①『問題解決能力向上のための5つのプロセス～四日市モデル～』の活用
- ②学習を振り返ったり、新たな課題を発見し、解決したりできるような授業ノートの活用
- ③新聞記事やコラム、非連続型テキストを含んだ資料を活用した読解力の育成
- ④読書後の1分間コメントやICT機器等を活用した  
意見発表等を通しての表現力の育成